岩盤ボーリング柱状図

調　査　名　主要地方道呉平谷線(上二河工区)道路改良事業に伴う業務委託(橋梁詳細設計(鋼))

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング 名	R1-B-7(P4L)	**調査位置**	広島県呉市上二河町地内	**北　緯**	34° 15′ 57.52″
発 注 機 関	広島県西部建設事務所　呉支所	**調査期間**	2019年 12月 17日 ～ 2019年 12月 24日	**東　経**	132° 33′ 36.18″
調 査 業 者 名		**主任技師**		**現 場 代 理 人** / **コ ア 鑑 定 者** / **ボーリング 責 任 者**	
孔 口 標 高	T.P. 45.18m	**角 度**	上下 180° / 90° / 0°	**方 位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総 削 孔 長	11.00m	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90° 34°	**使用機種**	試錐機 TOHO DO-D / エンジン ヤンマー　TF90V-E / ポンプ MARUYAMA MS313

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
38.68	6.50	崖錐堆積物(玉石混じり砂礫)	暗褐～褐灰							GL-0.2mまで植物遺骸が多く混じる表土。 GL-0.4mまで植物根が混じるマサ。 以深、マサ主体の玉石混じり砂礫。 礫はφ2～30mm程度の亜角礫主体で、コア長5～30cm程度の玉石が1～2個/m程度混じる。 礫間は細粒分を少量含む細砂・中砂及び細礫にて充填される。 粗粒結晶の花崗岩礫主体だが、細粒結晶の花崗岩、アプライトなどの礫も混じる。 相対密度は「緩い」状態。
36.58	8.60	中風化花崗岩	淡褐	w3	h1	C	III	c	CL	粗粒結晶の花崗岩。 45～60度程度傾斜した微細な亀裂が多くみられ、縦亀裂もみられる。 亀裂間は暗褐色を呈する細粒マサにて充填される。 岩芯は風化しており、ハンマーで濁音を発する。 GL-8.0m～-8.5m間、粗粒花崗岩片が散在し、流理模様を有する捕獲岩が混じる。暗灰色を呈し泥質基質であるが、緻密で硬い。 GL-8.0m以深、コア肌が滑らかになる。
34.18	11.00	弱風化花崗岩	白灰～淡褐灰	w1	h1	B	III	a	CM	粗粒結晶からなる花崗岩。 コア肌はなめらかで、所々淡く褐色味を帯びるが硬い。 ハンマーで金属音を発する箇所が多い。 10～45度程度傾斜する節理が20cm間隔程度で認められる。 節理面は概ね密着している。 GL-9.0mまで、粗粒花崗岩片が散在し、流理模様を有する捕獲岩が混じる。暗灰色を呈し泥質基質であるが、緻密で硬い。

コア採取率 —×—(%)　最大コア長 —○— cm　RQD —[%]

深度 (m)	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD [%]
0–1	(100)		
1–2	(100)		
2–3	(100)		
3–4	(100)		
4–5	(100)		
5–6	(100)		
6–7	(100)	25	[76]
7–8	(100)	25	[52]
8–9	(100)	26 / 37	[70] / [93]
9–10	(100)	33	[80]
10–11	(100)	36	[79]

孔内水位／測定月日：12/18 4.64、12/21 6.00、12/20 [illegible]、12/21 [illegible]、12/23 7.92

ルジオン　標準貫入　試験
P－Q 深度－N値 図
P ： 有効注入圧力　MPa
Q ： 注入量　1/min/m
(　) ： 換算ルジオン値
((　)) ： 限界圧力
N値 —○—

深度 (m)	N値 (回数/貫入量)
1.15～1.45	7/300
2.15～2.45	6/300
3.15～3.45	5/300
4.15～4.45	9/300
5.15～5.45	5/300
6.15～6.45	18/300
7.00～7.04	50/40
8.00～8.00	50/0
9.00～9.00	50/0
10.00～10.00	50/0
11.00～11.00	50/0

原位置試験：孔内水平載荷試験（3箇所）

削孔状況

深度 (m)	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
0–1		150	86/B2	SCT/MC	1.0	80	0.0	W1/0	0
1–2		110			0.5	200	0.1	W2/2	2
2–3		83			0.5	200			
3–4		110			0.5	200			
4–5	12/18	100			0.5	200			
5–6		73		WCT/DB	0.3	100	0.1	W2/2	2
6–7	12/20	110			0.3	100			
7–8		115			2.0	150	0.2	W2/2	0
8–9		128			2.0	150			
9–10		110			2.0	150			
10–11	12/23	120			2.0	150			